

## 【「(仮称)道の駅やちよ周辺地区活性化計画(素案)」に対するご意見の概要と市の考え方について】

※ いただいたご意見は主旨を損なわない程度に要約し、ご意見の内容に整理しております。

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
1	【活性化計画(素案)】全般に関して	「道の駅」やちよ(八千代ふるさとステーション)は、農業関連に特化しすぎている。様々な角度から柔軟に考えるべきではないか。	「道の駅」やちよ(八千代ふるさとステーション)は、農業の振興を図るとともに、市民、農業生産者及び商工業者相互の交流を深めるために整備された施設です。この度のリニューアルにつきましては、『さらなる賑わいの創出・行ってみよう!』と思う「防災道の駅」やちよとするため実施するものであることから、上述を基本としつつ、関係各署と連携を図り、検討を進めてまいります。いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
2	【活性化計画(素案)】活性化計画の目標及び計画期間	リニューアルの必要性として老朽化・機能不足・狭隘化の改善とあるが、具体的に現況写真等を添付して欲しい。 また、「道の駅」やちよ(八千代ふるさとステーション)は、供用開始後約20数年しか経過しておらず老朽化の議論は時期尚早ではないか。その理由や対策等を記載して欲しい。	いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。 「道の駅」やちよ(八千代ふるさとステーション)のリニューアルに当たり、農林水産省所管の農山漁村振興交付金を活用することとしており、(仮称)道の駅やちよ周辺地区活性化計画(素案)は、その交付金申請のための定められた様式を用い、必要事項を記載しております。このことから、現況写真の添付、及び老朽化対策等は追加記載いたしませんので、ご理解ください。 なお、老朽化につきましては、天窓のコーキングの劣化による雨漏りや床材の劣化によりビニールシート貼付での対応など、一部が著しく劣化している状況です。機能不足につきましては、近年の猛暑により、空調が効かないことやサッシ機能、照明及び情報提供に係る機能不足など多岐に渡っています。狭隘化につきましては、農産物の多様化などによる売場面積の不足や来館者の導線確保が困難となっています。 防災機能の整備と合わせて、老朽化・機能不足・狭隘化の改善及びさらなる賑わいの創出を図るためのリニューアルとしています。 なお、当該「道の駅」は、県内で3番目に整備したのですが、同時期に整備した他市の「道の駅」につきましても、随時、リニューアルを実施しているところです。	—
3	【活性化計画(素案)】活性化計画の目標及び計画期間	目標に記載されている施設の管理(八千代市から委託された第3セクター、一般社団法人、JA八千代、農家等)についても記載して欲しい。	現在、「道の駅」やちよは、指定管理者制度(指定管理者:株式会社やちよリーダーファーマーズ)を導入し、管理運営を行っております。リニューアル後の管理運営につきましても引き続き指定管理者制度の導入に向け、次期指定管理者を今後公募する予定としております。 なお、農山漁村振興交付金申請に係る本活性化計画(素案)に記載を求められる内容でないことから、追加記載いたしませんので、ご理解ください。	—

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
4	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標及び計画期間	<p>(1) 目標に記載されている防災拠点の内容（防災倉庫等）についても記載して欲しい。</p> <p>(2) 国土交通省から「防災道の駅」に選ばれたメリットについても記載して欲しい。</p> <p>(3) 令和3年度に八千代市、関東地方整備局、学識経験者等で審議した内容のポイントも記載して欲しい。</p>	<p>令和3年6月に国土交通省より、「道の駅」第3ステージの取組である「防災道の駅」に「道の駅」やちよが選定されたことを受け、現在、本市（危機管理課）による防災倉庫や国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所による防災トイレの整備等を進めております。</p> <p>防災機能の整備とリニューアルを中心とした「道の駅」の整備は、「防災道の駅」整備事業として、一体的なものですが、（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画（素案）は、農山漁村振興交付金を活用するために要領等に基づき作成したものであるため、ご指摘の内容を記載するものではありませんので、ご理解ください。</p> <p>なお、「防災道の駅」の詳細につきましては、市ホームページ（<a href="https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/39/3583.html">https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/39/3583.html</a>）における防災道の駅やちよ整備コンセプト、及び整備計画をご確認ください。</p>	—
5	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標及び計画期間	<p>目標に記載されている単年度・3か年売上高が全国の「道の駅」数や千葉県下にある「道の駅」数に着目した場合、高い数字なのか低い数字なのか平均的なのかを記載して欲しい。また、令和8年度から10年度までの目標値の根拠を記載して欲しい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p> <p>「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）のリニューアルに当たり、農林水産省所管の農山漁村振興交付金を活用することとしており、（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画（素案）は、その交付金申請のための定められた様式を用い、必要事項を記載していることから、他の「道の駅」との比較ではなく、交付金を活用した場合の効果を記載していますのでご理解ください。</p> <p>なお、目標値の根拠につきましては、交付金の要領等に基づき、増加する面積分を現在の売上高に乗じたものを基本としています。</p>	—
6	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標及び計画期間	<p>目標に記載されている売上高に対する収支（黒字、赤字等）について記載して欲しい。また、黒字ならばその活用方法、赤字ならば補填状況についても記載して欲しい。</p>	<p>現在、農産物特産物展示販売場、アイスクリームファクトリー及びレストラン（ラウンジ含む。）につきましては、八千代ふるさとステーションの設置及び管理に関する条例に基づき、各事業者が市に使用料を支払い、施設を利用しています。このため、各事業者の収支状況に対し、市からの補填などの対応は行っていません。</p> <p>この度の（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画（素案）は、交付金の要領等に基づき作成し、リニューアル前の売上高を増額することを目標としています。</p>	—
7	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標及び計画期間	<p>目標値（売上高・交流人口）の設定が低いのではないかと。高すぎる目標は立ち向かうのに意力がなくなるが、そこそこの目標に設定しないとモチベーションは上がらないのではないかと。</p>	<p>（仮称）道の駅やちよ周辺地区活性化計画（素案）は、農山漁村振興交付金の要領等、先行自治体の実績、及び八千代市農業イノベーション計画協議会での検討等を踏まえ作成しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>	—

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
8	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標及び計画期間（目標③）	目標において新たに3品商品開発を行うとされているが具体的な内容についても記載して欲しい。	新たな商品の開発につきましては、令和6年度から令和8年度の3か年で行うこととしていることやその開発に当たっては、指定管理者、農業・酪農従事者等と共に行うため、現時点で記載することはできません。	—
9	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標及び計画期間（目標③）	<p>目標において新たに3品商品開発を行うとされているが、普通の3品では賑わいに直結しないのではないかと。ヒット商品を3品開発となると厳しい目標になるかと思うが、様々な角度や見地から商品開発を行う必要があるのではないかと。</p> <p>新たに開発する3品の商品について、高津のとり飯等の郷土料理や郷土の歴史・伝説をモチーフに検討してもいいのではないかと。</p> <p>どの「道の駅」でも郷土料理や歴史・名所の発信等、様々な取組みを行っているので、「道の駅」やちよも来館しなければ購入できない独自の物を掘り起こして開発して欲しい。</p>	いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
10	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標及び計画期間	最終目標は何か。定住人口の増加を目指すのか。それとも交流人口を増やして売上を伸ばすことなのか。少なくとも今回の交流人口増加や売上目標では定住人口の増加に繋がらないのではないかと。	定住等との文言は、農山漁村振興交付金の申請に当たり、必要となる様式に予め規定されている文言（項目）であり、本市は、当該交付金の事業メニュー内、地域資源活用総合交流促進施設の整備（㊸地域連携販売力強化施設：地産地消のための直売所や地元産物を提供するレストランの整備等）を活用し、「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）のリニューアルを行い、農林水産物等の販売・加工促進を図り、合わせて農業関連イベント等を拡充し、新たな来館者の確保・交流人口の拡大・農村地域の関連所得の増大を目指した賑わいの創出を目標としています。	—

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
11	【活性化計画（素案）】定住等及び地域間交流を促進するために必要な事業及び他の地方公共団体との連携	(1) 定住とは何を指すのか。例えば農業者の定着率向上のため収入増加等を図り、市主導の魅力作りを実施し定着率を上げることを指すのか。 (2) 他の地方公共団体との連携の相手先の候補は決まっているのか。	定住等や他の地方公共団体との連携との文言は、農山漁村振興交付金の申請に当たり、必要となる様式に予め規定されている文言（項目）であり、本市は、当該交付金の事業メニュー内、地域資源活用総合交流促進施設の整備（㊸地域連携販売力強化施設：地産地消のための直売所や地元産物を提供するレストランの整備等）を活用し、「道の駅」やちよ（ふるさとステーション）のリニューアルを進め、地域の更なる賑わいの創出や農業所得・関連所得の増加を図ることを目標としております。 また、他の地方公共団体との連携につきまして、現時点において、想定はしておりません。	—
12	【活性化計画（素案）】活性化計画の目標の達成状況の評価等	モニタリングを行うとの表現は将来のことを指していると考えられるが、本活性化計画（素案）を作成するに当たり、現状のモニタリング等を実施しているのであれば記載して欲しい。	お見込みのとおりです。 リニューアル後において目標値を達成しているかのモニタリングについて記載しております。 現在は、指定管理者業務について、「八千代市指定管者制度ガイドライン」に基づき、指定管理者によるセルフモニタリング、本市によるモニタリングを実施しております。 当該モニタリングは、農山漁村振興交付金の申請、目標達成に係るものではなく、あくまで指定管理業務のモニタリングであることから、追加記載いたしませんので、ご理解ください。	—
13	【事業実施計画（素案）】Ⅱ評価指標	交流人口について、農業体験等のイベント参加者人数を274人増加すると記載されているが、イベント等にもう少し力を入れるのであれば、交流人口をもう少し増加させた目標を立てることができるのではないか。	現在、「道の駅」やちよにおいて、農業への理解を深めるため、年間100回を超える各種講座等を実施し、農業の振興を図っております。今後、さらに農業関連講座等の拡充を図ることとしておりますが、回数増加の限界や各講座の定員などがあるため、大幅な交流人口の増加が難しい面がありますが、いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
14	【事業実施計画（素案）】Ⅲ温室効果ガス排出量の削減目標	温室効果ガス排出量の削減目標のテーマが唐突に出てきているが、農産物直売所の次になぜこのテーマがでてきたのか説明して欲しい。	温室効果ガス排出量の削減目標との文言は、農山漁村振興交付金の申請に当たり、必要となる様式に予め規定されている文言（項目）であることをご理解ください。 当該項目については、交付金を活用し発電施設を整備する場合に温室効果ガス排出量の削減目標を設定するためのものであり、本市においては発電設備を整備しないため、この項目は空欄となっております。	—

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
15	【事業実施計画（素案）】IV活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性	(1) 全体事業費1,589,200,000円の算出根拠について分かり易く記載して欲しい。 (2) 交付金要望額217,500,000円に対する交付金算定交付率2分の1であれば、交付金額108,750,000円になるのではないか。	全体事業費の1,589,200,000円につきましては、令和6年度の実施設計費80,550,000円と令和7年度のリニューアル整備費（屋根トップライト改修、屋根塗装、床・内装・サッシ・照明・空調等の改修など。）1,508,650,000円となっております。 当該金額につきましては、基本設計業務の中で、各種積算基準や類似事例等から算出したものです。 交付対象事業費につきましては、交付金の要領等において、延べ床面積1㎡当たり29万円以下、既存施設については、1,500㎡以内となっていることから、29万円×1,500㎡＝435,000,000円となり、交付率2分の1の217,500,000円となります。	—
16	その他（リニューアル全般に関して）	「道の駅」やちよのリニューアルに当たり、八千代市独自の色を出す方法として、旧少年自然の家の植物観察園の植物を移植するのはどうか。 また、少年自然の家に展示してあった展示物を「道の駅」やちよに展示してはどうか。 少年自然の家は廃止されたが、自然を知ることや触れ合うこと等、一部の機能を代理できるのではないか。	いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今度の参考とさせていただきます。 なお、「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）は、農業の振興を図るとともに、市民、農業生産者及び商工業者相互の交流を図るために整備された施設です。 リニューアル後の施設につきましても、農業関連イベント等の拡充による新たな賑わいの創出や農業関連所得の向上等を目標としておりますので、ご理解ください。	—
17	その他（リニューアル全般に関して）	現状の八千代ふるさとステーションは、休憩やアイスクリームファクトリーで購入したジェラートを食べる場所等、休憩スペースが少ない。 また、滞在時間を増やすのであれば、レストランはフードコート方式が望ましいのではないか。	現在の「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）は、農作物の多様化等による売り場面積の不足や来館者の導線確保が困難となっていることから、リニューアルを行うことで改善を図ることとしております。 「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）リニューアル後のレストラン等の運営や販売商品等は、次期指定管理者の提案に基づき行うこととなります。 なお、いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
18	その他（リニューアル全般に関して）	他の「道の駅」も構造や売り方等が類似しており差別化が見られない施設も多いので、八千代ふるさとステーションのリニューアルに当たり、既成概念にとられない発想で検討をして欲しい。	いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
19	その他（事業スケジュール）	事業計画スケジュール等を記載して欲しい。	事業計画スケジュールにつきまして、農山漁村振興交付金申請に係る本活性化計画（素案）に記載を求められる内容でないことから、追加記載いたしませんので、ご理解ください。 なお、今後事業計画につきましては、次のとおりとなります。 ・ 令和5年10月末 基本設計完了 ・ 令和6年度 実施設計 ・ 令和7年度 道の駅やちよ（八千代ふるさとステーション）改修工事 ・ 令和8年度 道の駅やちよ（八千代ふるさとステーション）リニューアルオープン	—

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
20	その他（農産物特産物展示販売所）	「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）の農産物特産物展示販売所の商品陳列について、他の「道の駅」を参考にして欲しい。 コンテナを重ねた販売方法だと買い手側が屈まなくてはならないので、もう少し買い手側に寄り添った陳列方法を検討して欲しい。	いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
21	その他（活性化に関する取組）	「道の駅」のすぐそばにテニスコートがあるところは他に見たことがないので、この立地条件を活かして施設利用者にテニス教室等を実施し、他の「道の駅」との差別化を図ることができるのではないかと。 また、スポーツを通じて、市と「道の駅」の活性化を図れるのではないかと。	いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
22	その他（防災を意識した子ども施設の設計・設置）	(1) 屋外 農業交流センター側に既存の芝生広場があるが、ふるさとステーション側にも遊具がある広場を設置する。 また、災害時に防災活用できる遊具を設置するとともに、平常時には子育て世代を中心に人々が集まる交流の場として、更には災害時には拠点となる施設であることを子ども達に伝えるような施設とする。	リニューアル後の「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）につきまして、幅広い世代にご利用いただける施設を目指し、検討を進めております。 なお、いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。	—
		(2) 屋内 市内に小学生から高校生までが集まり活動する場所がないため、平時から活動できる児童館を整備する。 また、災害時には宿泊可能な防災拠点となる様な児童館とする。	道の駅やちよ（八千代ふるさとステーション）は、農業の振興を図るとともに、市民、農業生産者及び商工業者相互の交流を図るために整備された施設です。 リニューアル後の施設につきましても、農業関連イベント等の拡充による新たな賑わいの創出や農業関連所得の向上等を目標としており、ご意見にありました児童館の整備は計画しておりません。 なお、幅広い世代にご利用いただける施設を目標にリニューアルを進めて参りますので、ご理解ください。	—
23	その他（周辺地域住民のための施設設置）	支所は存在するが利便性が悪く、また郵便局が周辺にないため業務を限定して窓口を設ける。	「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）は、農業の振興を図るとともに、市民、農業生産者及び商工業者相互の交流を深めるために整備された施設です。 リニューアル後の施設につきましても、農業関連イベント等の拡充による新たな賑わいの創出や農業関連所得の向上を目標としており、ご意見にありました支所及び郵便局窓口の新設置を計画しておりません。	—

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正等
24	その他（知名度の高いカフェ施設の誘致）	既にレストランは存在するが、より幅広い層を取り込むため、知名度の高いカフェ施設を誘致する。	<p>「道の駅」やちよの管理運営につきまして、引続き指定管理者制度を導入することで、民間事業者のノウハウを活用し、効率的かつ効果的な施設管理と更なる賑わいの創出を図る施設運営を行う予定としております。</p> <p>「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）リニューアル後の物販施設の運営や販売品等は、次期指定管理者の提案に基づき行うこととなります。</p> <p>なお、いただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>	—
25	その他（東洋バスへの協力要請）	<p>東洋バス米本団地線の終点を米本団地ではなく「道の駅」やちよ（八千代ふるさとステーション）まで延伸し、来館者の増加を図る。</p> <p>また、災害時は、東洋バスを活用し、物資等の輸送を行う。</p>	<p>頂戴したご意見は、さらなる賑わいの創出の観点から、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、災害時における物資の供給や運送等につきましては、災害時協力協定を国・他自治体・市内外の事業者と締結しております。なお、各協定につきましては、市ホームページ（<a href="https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/8/1620.html">https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/8/1620.html</a>）をご確認ください。</p>	—
26	その他（サイクリングロードの整備）	<p>「道の駅」やちよを防災拠点とする場合、救助車両等の自動車は国道16号線を介して施設にアクセス可能であるが、その支援を受けるべき人のところまでの道路が途絶されている可能性もある。</p> <p>そのため車両以外でも施設にアクセスできるように新川両サイドにサイクリングロードを整備してはどうか。</p> <p>現状の新川の道路は多くの箇所で柵がなく舗装がままならないため通行には適しておらず灯りもないことから、特に夜間の通行には危険が伴う状況であり、防災拠点との連絡にはそぐわない状況である。</p> <p>サイクリングロードを整備することで昼夜問わず利用可能となり「道の駅」やちよの来館者数向上の要因になる。</p>	<p>印旛沼及び印旛放水路（新川）の沿川は、東京湾から利根川を結ぶ広域的なサイクリングロードとして、印旛放水路（新川）の阿宗橋から印旛沼の坂直水門までの区間では千葉県自動車道八千代印旛栄自転車線が整備されており、また、印旛放水路（新川）の阿宗橋から大和田機場にかけては、堤防の管理用通路について一部区間を除いて、河川利用促進等の観点から本市と千葉県で兼用工作物協定を締結し、一般利用を促しております。</p> <p>ご意見にありましたサイクリングロードにつきましては、上述のとおり既に新川遊歩道（管理用通路兼用）が整備されていること、及び堤防の管理は河川管理者である千葉県が所管されていること等を踏まえ、現時点において、本市としては、拡幅や拡充を計画しておりません。</p> <p>なお、新川遊歩道（管理用通路兼用）の安全な利用に供するため、適切な維持管理に努めてまいりますので、ご理解ください。</p>	—